

WHO ファクトシート

住血吸虫症

Schistosomiasis

2017年10月

重要な事実

- ・住血吸虫症は、寄生虫によって引き起こされる急性及び慢性の疾病である。
- ・日常の農作業、家事、仕事や娯楽活動で、寄生虫のいる水にさらされることによって人々に感染する。
- ・不衛生や、寄生虫のいる水での水泳や釣りといった学齢児童の遊びの習慣により、児童への感染リスクが高い。
- ・住血吸虫症のコントロールは、定期的にプラジカンテルを集団投与することにより疾病を減らすことに重点が置かれている。加えて飲用に適した水、適切な衛生設備、巻貝類の駆除などを含む、より包括的なアプローチにより感染を減らすことができる。
- ・推計によると2016年には少なくとも2億650万人に住血吸虫症の予防措置が必要であり、そのうち8800万人以上の人々が治療を受けたと報告されている。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい (改定前)

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Schistosomiasis ファクトシート原文は [こちら](#)